

第3次小田原市行政改革実行計画

令和5年度実績報告

令和6年(2024年)8月

小田原市

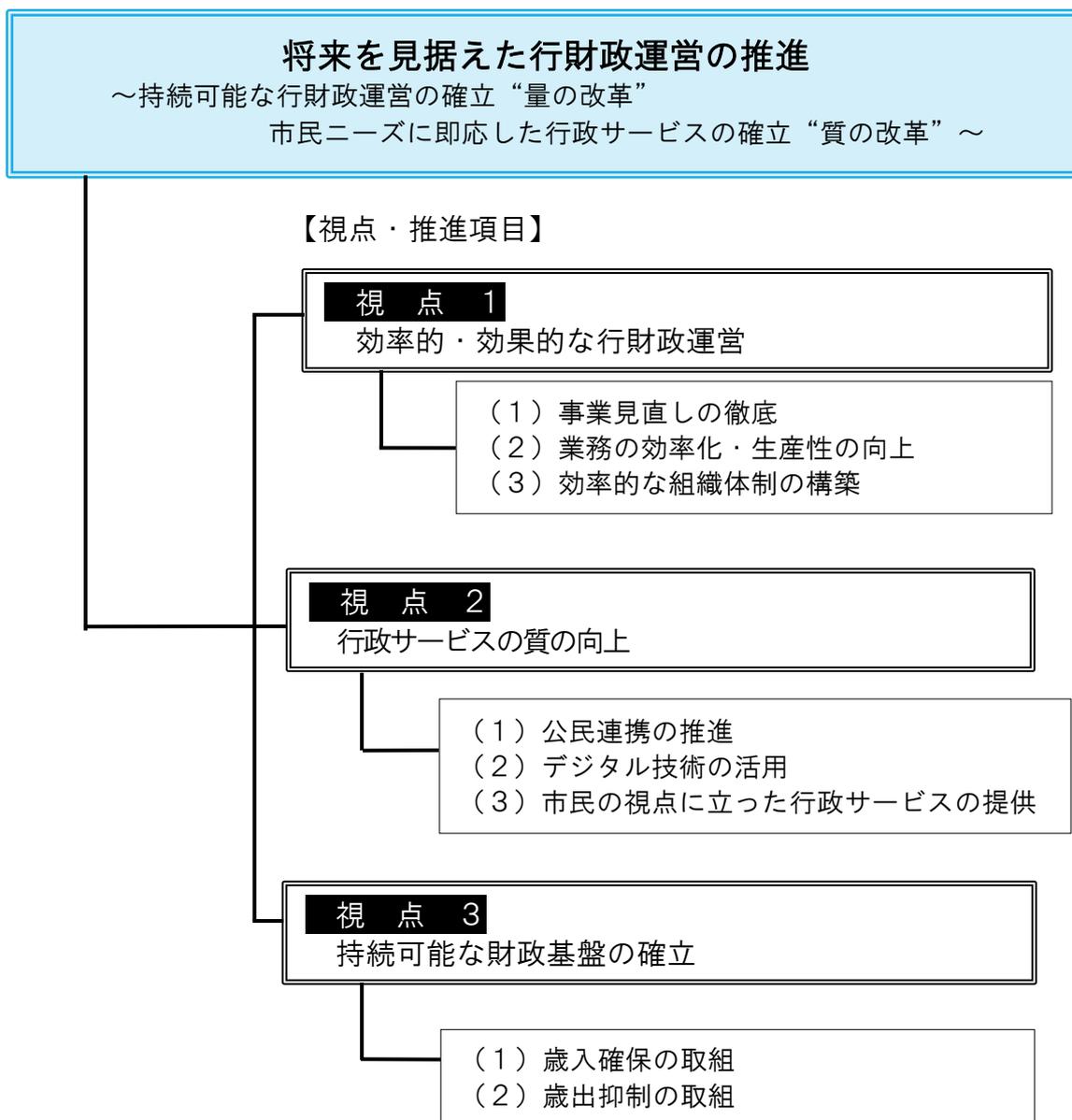
目次

1 行政改革の基本的な考え方(計画より抜粋)	1
2 令和5年度 実績報告について.....	2
3 具体的な取組の考え方、読み方	3
4 具体的な取組(令和5年度の実績).....	4

1 行政改革の基本的な考え方(計画より抜粋)

(1) 行政改革の目標と視点・推進項目

「将来を見据えた行財政運営の推進」を目標に、市民ニーズ等を的確に把握しつつ、行政経営資源を適切に配分することにより、減量型の改革と質の向上を両立させ、市民満足度の向上を目指します。計画の推進に当たっては、次の3つの視点と8つの推進項目に基づき着実に進めます。



(2) 計画期間

令和5年度から令和9年度までの5年間を計画期間とします。

※中間年度の令和7年度に改定。

(3) 推進体制

両副市長を委員長、副委員長とする「小田原市行財政改善推進委員会」を中心に全庁的な行政改革に取り組みます。

2 令和5年度 実績報告について

計画の進行管理について、小田原市行財政改善推進委員会において毎年度、検証のうえ、市議会への報告及び広報紙やホームページによる情報公開を行い、市民と情報共有するため、令和5年度に市が実施した取組についてとりまとめています。

(1) 【令和5年度実績】計画期間内の財政効果額（量の改革によるもの）

令和5年度に実施した取組（量の改革によるもの）による財政効果額は、**概ね3億円**となりました。

（単位 千円）

会 計	事業費ベース (①)	人件費ベース (②)	財政効果額 (①+②)
一般会計	93,771	204,365	298,136
特別会計	600	130	730
企業会計	0	0	0

※事業費ベースとは、取組により見込まれる歳入・歳出から、取組実施に伴う投資的経費を差し引いたもの。

※人件費ベースとは、事務事業の見直しによって削減できる業務量を、人件費に換算したものの。

<参考> 【令和5～9年度計画値】計画期間内の財政効果額（量の改革によるもの）

会 計		事業費ベース (①)	人件費ベース (②)	財政効果額 (①+②)
一般会計	R5～R9 計	1,425,250	569,764	1,995,014
	(R5 実施分)	(125,655)	(123,645)	(249,300)
特別会計	R5～R9 計	25,128	27,393	52,521
	(R5 実施分)	(0)	(5,955)	(5,955)
企業会計	R5～R9 計	3,096	5,955	9,051
	(R5 実施分)	(0)	(0)	(0)

(2) 【令和5年度実績】取組内容（質の改革によるもの）

令和5年度に実施した取組（質の改革によるもの）を、取組ごとに記載しています。詳細は、「4 具体的な取組（令和5年度の実績）」のうちの【質の改革】の各表をご覧ください。

3 具体的な取組の考え方、読み方

量の改革				
計画 No.	取組名	担当課 ※1	R5実績	
			取組内容	財政効果額 (千円)
1	(具体的な取組名)	担当課名	(R5 に実施した具体的な取組内容を記載)	※2
...
			財政効果額累計(実績値)	※3

※1…R5 時点の担当課を記載しています。

※2…R5 の取組実績による計画期間内の累計財政効果額を記載しています。ただし、視点 3(1) 歳入確保の取組については、歳入増加額のため、単年度のみ記載しています。財政効果額には、事業費ベースと人件費ベースが含まれています。

※3…R5 の取組実績ごとの財政効果額の合計を記載しています。

質の改革			
計画 No.	取組名		担当課※4
2	(取組名)		(担当課名)
目標	指標	基準値	目標値
	(取組の目標とする項目)	(基準となる値) ([令和○年度])	※5
R5実績	取組内容		
	(R5 に実施した具体的な取組内容を記載)		

※4…R5 時点の担当課を記載しています。

※5…取組を実施することによる計画終了時の R9 年度の目標を記載しています。

4 具体的な取組(令和5年度の実績)

3つの視点別、推進項目別、【量の改革】と【質の改革】別に、計画に位置付けた具体的な取組について、令和5年度の実績(取組内容や財政効果額)を記載しています。

なお、令和5年度に実施した取組は 49 項目になります。

視点 1 効率的・効果的な行財政運営

(1)事業見直しの徹底

社会経済情勢の変化や、初期の目的を達成したもの、また、他自治体との比較により事業の見直しを図ります。

【質の改革】

計画 No.	取組名		担当課
5	サマーレビューの実施による予算編成事務の軽減		財政課 企画政策課
目 標	指 標	基 準 値	目 標 値
	予算編成事務に係る削減人工数	— [令和4年度]	0.5 人工
R5実績	取組内容		
	予算編成事務のスケジュールを鑑み、作業繁忙期を避け、作業負担の軽減を図った上で、オータムレビュー(各事業の熟度を高めるため、サマーレビューから時期を遅らせて実施)として新規・大規模事業の事業費や実施時期等の方向性を早期に共有したことで、0.5 人工の削減を達成した。		

計画 No.	取組名		担当課
6	電話機能の見直し(業務終了アナウンスの導入)		企画政策課
目 標	指 標	基 準 値	目 標 値
	導入率	— [令和4年度]	100%
R5実績	取組内容		
	令和5年7月に、本庁舎各課の電話機の代表電話番号等に業務終了アナウンスを導入した。導入によって、業務終了の告知を正確かつ効率的に行うことができるようになった。		

計画 No.	取組名		担当課
7	小田原競輪事業の収益の向上		事業課
目 標	指 標	基 準 値	目 標 値
	一般会計繰出金	1億円/年 [令和4年度]	1億円/年
R5実績	取組内容		
	モーニング競輪やミッドナイト発売の売上が好調であったことや、記念競輪に相当する GIIIグレードを2回開催したことから大幅な増収となった。それにより一般会計繰出金 1.5 億円を達成した。		

計画 No.	取組名		担当課
8	おだわら市民学校事業の見直し		生涯学習課
目 標	指 標	基 準 値	目 標 値
	受講者人数	124 人 [令和4年度]	126 人
R5実績	取組内容		
	基礎課程「おだわら学講座」(受講者 37 人)、専門課程6分野(受講者 50 人)、教養課程2分野(受講者 30 人)で実施した。専門課程各分野の 1 つの講座を受講者以外の市民にも公開実施した(一般参加者 193 人)。		

計画 No.	取組名		担当課
9	小田原文学館管理運営事業の見直し		図書館
目 標	指 標	基 準 値	目 標 値
	入館者数	4,500 人 [令和4年度]	8,000 人
R5実績	取組内容		
	小田原文学館の庭園を整備・活用するため、旧観の復元、建物との調和、美観の向上など修景及び歴史的景観に配慮しつつ、管理機能の強化と安全性を確保するため、庭園整備実施設計業務を進めた。令和5年度の入館者数は5,649 人であった。		

計画 No.	取組名		担当課
10	ごみ減量・資源化の推進		環境政策課
目 標	指 標	基 準 値	目 標 値
	家庭ごみにおける1人1日当たりの燃せるごみ総排出量／資源化率	497(g)／24.9(%) [令和3年度末時点]	469(g)／25.2(%)
R5実績	取組内容		
	食品ロス削減、段ボールコンポストの普及啓発など燃せるごみの減量に取り組むとともに、剪定枝の資源化など、排出抑制だけでなく資源化率の向上に向けた実証事業を実施し、家庭ごみにおける1人1日当たりの燃せるごみ総排出量／資源化率は474g/24.0%となった。		

計画 No.	取組名		担当課
11	市有施設への省エネ・再エネ設備の導入		ゼロカーボン推進課
目 標	指 標	基 準 値	目 標 値
	市役所で実施する事務事業により排出される温室効果ガス	35,900t-CO2 [令和2年度末時点]	27,251t-CO2
R5実績	取組内容		
	小田原市斎場の屋上及び敷地内に太陽光発電設備を設置するとともに、47 施設に LED 照明や高効率空調などの省エネ設備導入を行い、温室効果ガスの排出量を33,627t-CO2 まで削減した。		

計画 No.	取組名		担当課
13	空き店舗等の利活用促進に係るエリアの拡大		商業振興課
目 標	指 標	基 準 値	目 標 値
	補助金の交付件数	3件 [令和3年度末時点]	6件
R5実績	取組内容		
	設備の老朽化等を理由に貸し出されていない空き店舗等の所有者に対し、店舗として貸し出すために必要となる改修経費の一部を補助する。また、この改修された物件に出店する方に対し、早期に顧客を獲得し経営の安定化を図るため、開業当初に要する広告宣伝費等の一部を補助した。対象エリアは、小田原駅周辺エリアに加え、箱根板橋駅・南町周辺エリアを追加した。令和5年度は1件の交付実績となった。		

計画 No.	取組名		担当課
14	新規就農者に対する市単独事業補助金の見直し		農政課
目 標	指 標	基 準 値	目 標 値
	新規就農者数	71 人 [令和4年度]	111 人
R5実績	取組内容		
	新規就農の条件である農業研修を円滑に行うため、研修希望者と市内の中核的農業者のマッチングを行うとともに、研修生を受入れた農業者に協力金を交付することで支援する制度を新たに実施した。令和5年度の新規就農者数は累計95 人の実績となった。		

(2)業務の効率化・生産性の向上

コロナ禍により、実施方法や内容を工夫して取り組んできたものは引き続き実施するとともに、イベント・啓発事業については、必要性を精査したうえで廃止・縮小等を検討します。

【量の改革】

計画 No.	取組名	担当課	R5実績	
			取組内容	財政効果額 (千円)
3	文書管理・電子決裁システムの導入による文書管理事務の効率化	総務課	文書管理・電子決裁システムを運用開始し、起案や供覧がデジタル化され、全庁的なペーパーレス化が促進された。職員の事務効率も上がり事務負担軽減に繋がった。	49,485
6	地球温暖化対策に係る各種普及啓発事業の統合	ゼロカーボン推進課	普及啓発事業として実施していた市主催の環境教室と、おだわらゼロカーボン推進会議主催の「小学生向け環境講座」を統合した。	2,205
8	つくしんぼ教室行事の見直し	子ども若者支援課	参加職員の削減（始業式・卒園式）、来賓招待の停止（始業式・運動会・お楽しみ会・卒園式）を実施した。	2,055
9	イベント周知に係る通送便を活用した業務の効率化	観光課	市観光交流センター及び小田原駅観光案内所宛に発送する文書について、定期的な文書は、当該施設に隣接する公共施設（市民ホール及びアークロード市民窓口）への通送を活用することで効率化を図った。また、至急ではない文書は、両施設とも関連のある観光協会経由で発送することで職員の負担を軽減した。	2,055
10	パンフレットの定期便化による業務の効率化	観光課	パンフレット配架する施設 11 か所と協議し、配送日を月 2 回とすることで、各施設へ直接配送する人件費を削減した。	170
12	公共料金の口座引落の促進	出納室	公共料金の支払方法について、納付書払いから口座引落への変更を促し、処理を一元化することにより、消耗品及び人件費を削減した。	510
14	上級救命講習における講習時間の合理化	救急課	上級救命講習の受講を希望する一般市民に対し、講義部分を WEB コンテンツを活用し、講習時間を短縮した。	130
			財政効果額累計(実績値)	56,610

【質の改革】

計画 No.	取組名		担当課
18	多様な働き方の促進によるワーク・ライフ・バランスの充実		企画政策課、職員課 デジタルイノベーション課
目 標	指 標	基 準 値	目 標 値
	リモート用パソコンの使用率	27.3% [令和3年度末時点]	80%
R5実績	取組内容 多様な働き方を促進し、働きやすい職場環境を構築するため、自宅や介護先でも在宅勤務を可能とした。また、稼働実績のない端末を臨時の貸出用に再配置し、リモート用パソコンの使用率を 31.4%まで向上させた。		

計画 No.	取組名		担当課
21	災害対策本部チーム制の見直し		防災対策課
目 標	指 標	基 準 値	目 標 値
	職員各自の部局の業務内容把握率	— [令和4年度]	100%
R5実績	取組内容		
	災害対策本部体制を見直し、既存の組織に付随した業務をチームの仕事としている体制から、災害対策業務を割り振った班に対して人員を割り当てる新しい災害対策本部体制に6月1日から移行した。		

計画 No.	取組名		担当課
23	消防職員への教育・研修の効率化		消防総務課
目 標	指 標	基 準 値	目 標 値
	リモート参加導入研修数に対する リモート参加率	— [令和4年度]	50%
R5実績	取組内容		
	令和5年度新任研修は視聴型資料及び e ラーニングによる非対面研修を主軸に、対面が必要な内容に限って職名ごとに1日に対面研修を実施する形とした。職員の集合に係る移動時間や業務予定調整時間を削減し、必要な資料は何度でも見返せる環境が整ったことで、大幅な業務の効率化が図られた。		

(3) 効率的な組織体制の構築

施設等の適正な配置により、効率的な組織体制を構築します。

【質の改革】

計画 No.	取組名		担当課
1	消防署所の再整備		消防総務課
目 標	指 標	基 準 値	目 標 値
	再整備により適正配置した署所数	— [令和4年度]	1施設
R5実績	取組内容		
	山北出張所再整備事業のうち、令和5年度に新庁舎を竣工し、引き続き建設される外構等の付属棟、訓練棟に先行する形で運用を開始した。		

視点 2

行政サービスの質の向上

(1) 公民連携の推進

民間事業者等の力を積極的に取り入れ、市の各施策分野等に活かします。

【量の改革】

計画 No.	取組名	担当課	R5実績	
			取組内容	財政効果額 (千円)
2	みんなで消防士さんを応援しよう！プロジェクト事業 (民間提案制度採択事業)	消防総務課	スポンサー企業名入りのワッペンを消防部隊等が参加するイベントや訓練の時に装着する防火衣に貼付した。また、協賛金を一部使用し、消防本部 PR 動画制作や、消防広域化 10 周年記念事業としてストラップの作成等を行った。	600
			財政効果額累計(実績値)	600

【質の改革】

計画 No.	取組名	担当課	
5	包括管理委託導入による公共施設管理業務の水準向上	資産経営課	
目標	指標	基準値	目標値
	包括管理委託事業者による付加価値提案の達成率	— [令和4年度]	100%
R5実績	取組内容		
	市内 107 の公共施設の管理業務委託を一本化し、職員の契約事務等に係る負担を軽減したほか、一部再委託業務について、現状に即して仕様の見直しを行った。		

計画 No.	取組名	担当課	
8	地域資源の力を活用した子ども・若者に対する相談支援の実施	子ども若者支援課	
目標	指標	基準値	目標値
	実務担当者会議参加機関数	10 機関 [令和4年度]	25 機関
R5実績	取組内容		
	小田原市要保護児童対策地域協議会実務者会議において、要保護児童等の進行管理や事例検討などを行い、福祉や子育てに関する関係各課や、医師会、歯科医師会、警察、児童相談所など 23 の関係機関が参加した。		

計画 No.	取組名	担当課	
9	外国人来訪者おもてなし事業の充実	観光課	
目標	指標	基準値	目標値
	小田原駅観光案内所 外国人観光客利用者数	11,300 人 [平成 29～令和元年度の平均値]	15,000 人
R5実績	取組内容		
	令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことから、計画を前倒した。 (一社)小田原市観光協会は、観光庁の「観光再始動事業」の採択を受けて、史跡や自然、体験コンテンツを活用したインバウンド向けのツアーを実施するなど、外国人観光客の受け入れ態勢を整え、11,753 人の外国人観光客に小田原駅観光案内所を利用いただいた。		

計画 No.	取組名		担当課
10	一般社団法人小田原市観光協会主催事業の拡充		観光課
目 標	指 標	基 準 値	目 標 値
	観光協会主催事業の総入込客数	1,068,000 人 [令和3年度実績]	2,100,000 人
R5実績	取組内容		
	令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことから、計画を前倒し、各種イベントがコロナ禍前の規模で開催された。北條五代祭りは、パレードルートを変更し駅前の混雑を回避して開催したほか、酒匂川花火大会では、特別な有料観覧席を設けて話題になるなど、ともに過去最多の観客を動員することができた。さらに、「風魔忍者」や「歴史謎解き」を活用したまち歩き観光施策を実施し、令和5年度は観光協会主催事業における総入込客として、1,637,000 人の実績となった。		

(2) デジタル技術の活用

小田原市 DX 推進計画に基づき、行政内部のデジタル化や地域の実情を踏まえた市民生活のデジタル化を図ります。

【量の改革】

計画 No.	取組名	担当課	R5実績	
			取組内容	財政効果額 (千円)
1	システム導入による職員採用事業の効率化	職員課	従来の紙媒体での申込受付を廃止、電子申請のみとし、1 次試験をオンラインとした他、案内や結果通知等をシステムからの自動送信とするなど、業務の効率化を図った。	1,110
2	RPA※・AI-OCR※利用による業務の効率化	デジタルイノベーション課	国の補助金を活用して導入した RPA について、新規 2 業務に適用し、既存 22 業務含め業務時間の削減を図った。	41,135
8	防災・発災時におけるタブレット端末の活用による議員への情報提供等	議会総務課	議員への情報提供等はグループウェアにより行っており、災害情報も同様に活用することで迅速な情報共有を図った。大地震等発災時はアンケート機能による安否確認も実施する。	4,160
			財政効果額累計(実績値)	46,405

※RPA・・・ロボティック・プロセス・オートメーションの略。これまで人間のみが対応可能と想定されていた作業等を、技術を活用して代行・代替する取組。

※AI-OCR・・・AI の学習機能を活用し、手書き文字等を認識できるようになる仕組み。

【質の改革】

計画 No.	取組名		担当課
16	建築指導に係る窓口業務における電子データ化の推進		建築指導課
目 標	指 標	基 準 値	目 標 値
	窓口業務にかかる時間	12 分/回 (480 分/月) [令和4年度]	3 分/回 (120 分/月)
R5実績	取組内容		
	位置指定道路図及び建築基準法第43条第2項道路同意書をデジタル化し、指定日及び指定番号を付与することにより、情報検索が容易となり、紙媒体の保護や窓口業務の時間短縮(12 分/回→6 分/回)により行政サービスの向上や職員の負担軽減を図った。		

(3) 市民の視点に立った行政サービスの提供

市民の視点に立った行政サービスを提供することで、サービスの質の向上を図ります。

【質の改革】

計画 No.	取組名		担当課
3	市民ホール施設使用料のキャッシュレス化		文化政策課
目 標	指 標	基 準 値	目 標 値
	年間施設使用料に占める キャッシュレス決済の利用割合	50% [令和4年度]	90%
R5実績	取組内容		
	クレジットカード決済やバーコード決済等のキャッシュレスによる使用料納付を要望する声が多かったため、市民ホール施設使用料をキャッシュレス化し、利用者の利便性の向上を図った。令和5年度におけるキャッシュレス決済の利用割合は18%となった。		

計画 No.	取組名		担当課
7	ごみの分別ガイドの多言語化		環境政策課
目 標	指 標	基 準 値	目 標 値
	対応言語数	5か国語 [令和4年度]	10か国語
R5実績	取組内容		
	ごみと資源の分け方出し方ガイドのタガログ語版を作成し、希望者に配布を開始した。また、ウェブの翻訳機能が利用できるようホームページに分け方出し方ガイド(テキスト版)を公開し、新たにフランス語、ドイツ語に対応できるように修正し、8か国語に対応できる体制となった。		

計画 No.	取組名		担当課
8	指定ごみ袋発注方法のデジタル化		環境政策課
目 標	指 標	基 準 値	目 標 値
	インターネット経由の発注割合	— [令和4年度]	50%
R5実績	取組内容		
	令和5年10月より e-kanagawa 電子申請システムを利用したインターネット発注の受付を開始した。運用開始後のインターネット経由の発注割合は3.4%となった。		

計画 No.	取組名		担当課
9	野猿等対策事業に係るH群全頭捕獲の更なる連携の推進		環境保護課
目 標	指 標	基 準 値	目 標 値
	サルの捕獲数	0頭 [令和4年度]	12頭
R5実績	取組内容		
	24時間スマートフォン等で遠隔監視・捕獲ができるICT わなを活用し捕獲を試みた。また、麻酔銃による捕獲を実施し、令和5年度は5頭捕獲することができた。		

計画 No.	取組名		担当課
13	建築に関する各種規定等情報の提供に係るサービスの向上		建築指導課
目 標	指 標	基 準 値	目 標 値
	当該ホームページのアクセス数	80/月 [令和4年度]	250/月
R5実績	取組内容		
	市ホームページに解説や早見表を解り易く掲載した。令和5年度の当該ホームページの月間平均アクセス数は129であった。		

計画 No.	取組名		担当課
14	魅力ある公園づくり		みどり公園課
目 標	指 標	基 準 値	目 標 値
	再整備公園数	— [令和4年度]	5公園
R5実績	取組内容		
	南鴨宮駅前公園について、令和4年度に地域住民等とのワークショップや意見交換会を開催、利用者ニーズに合わせ策定した再整備計画に基づき令和5年度に再整備を実施、令和6年3月25日にリニューアルオープンした。2公園目として、山根公園(早川)を対象に、同様のワークショップや意見交換会を開催、令和6年3月に再整備計画を策定した。		

計画 No.	取組名		担当課
15	放課後児童クラブ運営の充実		教育総務課
目 標	指 標	基 準 値	目 標 値
	クラブ入所者数	1,744 人 [令和4年度]	1,851 人
R5実績	取組内容		
	令和5年 10 月から、2か所の放課後児童クラブで市内事業者との運営業務委託を行い、地域の子どもを地域で育てる環境づくりを進めるとともに、全ての放課後児童クラブにおいて、利用者サービスの向上のため、運営事業者の独自プログラムの実施や市民活動団体との連携など、プログラムの充実に取り組んだ。令和5年度のクラブ入所者数は 1,802 人の実績となった。		

視点 3

持続可能な財政基盤の確立

(1) 歳入確保の取組

将来にわたって安定的に行政サービスを提供し続けるため、新たな歳入確保策を検討します。

【量の改革】

計画 No.	取組名	担当課	R5実績	
			取組内容	財政効果額 (千円)
1	企業版ふるさと納税の積極的な活用に向けた支援サービスの導入	企画政策課	ポータルサイトの運営や周知パンフレット作成などを実施する業務支援サービスを活用し、より多くの件数の寄附を受けることが可能となった。	4,366
3	ふるさと納税(個人版)の積極的な活用	企画政策課	返礼品事業者・管理運営事業者との運営体制を強化し、返礼品拡充を進め、返礼品ページの見直しや広告宣伝の強化を図った。また、全庁的な連携を強化し、返礼品の新規発掘や再編・改良を図った。実績として、前年比 106.4% 増の約 11.23 億円の寄附を受けた。	69,189
4	ふるさと納税を活用したクラウドファンディングの実施	企画政策課	特定の事業に用途を指定できる「ふるさと納税型クラウドファンディング」を活用し、事業 PR 及び寄附受入を行うことで財源確保に努めた。	1,026
			財政効果額累計(実績値)	74,581

(2) 歳出抑制の取組

将来にわたって安定的に行政サービスを提供し続けるため、歳出全般の効率化を図ります。

【量の改革】

計画 No.	取組名	担当課	R5実績	
			取組内容	財政効果額 (千円)
2	議案書等のペーパーレス化	総務課 財政課	令和4年9月の議会運営におけるタブレット端末及びペーパーレス会議システムの導入に合わせ、執行部側においても、ペーパーレス環境の整備を進め、議会事務のデジタル化(ペーパーレス化)を図った。令和5年度においても、議案及び予算書については、市ホームページに掲載するほか、できる限り議案書等の作成部数(配布部数)を削減した。	8,975
3	防災服の見直し	防災対策課	部局長からの防災服の返却と、災害対策従事職員被服等貸与規程の一部を改正した。	2,915
4	図書館学習イベント開催事業の見直し	図書館	16 ミリ映写機講習会を廃止し、講師謝礼の削減を図った。	2,155
7	議会資料のペーパーレス化の推進に伴う用紙等経費の削減	議会総務課	ペーパーレス会議システムを使用した会議の運営を徹底し、委員会資料や議会で作成する行政資料をデータ提供とした。	8,300
			財政効果額累計(実績値)	22,345

その他

計画期間内の調整案件や計画に記載のない独自の取組

【量の改革】

計画 No.	取組名	担当課	R5実績	
			取組内容	財政効果額 (千円)
視点1 5	耐震シェルター等設置費補助金の廃止	防災対策課	耐震シェルター等設置費補助金を廃止し、他メニューによる補助制度についての先進事例等を調査研究した。	2,305
視点1 9	畜犬登録・狂犬病予防注射事業に係る集合注射の段階的廃止	環境保護課	実施会場数と日数を延べ17会場(11日間)から6会場(5日間)に見直したことで、会場費や人件費を削減した。	2,425
視点3 10	小田原市休日・夜間急患診療所運営費負担金の適正化	健康づくり課	小田原市休日・夜間急患診療所等の運営費について、下郡3町のみから負担金を徴収していたが、利用実績を踏まえ、令和5年度から足柄上地区1市5町からも負担金を徴収することとし、歳入が大幅に増加した。	93,595
財政効果額累計(実績値)				98,325

【質の改革】

計画 No.	取組名	担当課
視点1-28	小田原みなとまつり開催事業の見直し	水産海浜課
目 標	指 標	目 標 値
	みなとまつり内のイベント参加者数	1,700人 ※「新しい生活様式」を踏まえた事業規模(R4実施)
R5実績	取組内容	
	8/6(日)4年ぶりの開催となった「第30回小田原みなとまつり」では、従来、イベント内容により分散していた会場を1か所に集約したことで運営が効率化できた。会場においては、既存の市場内活魚水槽をタッチングプールとして利用することで省力化を図ったほか、駐車場混雑及び渋滞緩和のため、公共交通利用促進キャンペーンを行った。令和5年度のイベント参加者数は3,729人となった。	

計画 No.	取組名	担当課
視点2-9	通学路の安全対策に係る見守りシステム導入の検討	保健給食課
目 標	指 標	目 標
	導入校	25校
R5実績	取組内容	
	三の丸小学校ほか7校に順次導入し、見守りシステムの周知、見守り人(見守りサービス協力者)の定期的な募集を行った。	

計画 No.	取組名		担当課
視点 2-11	農業委員会運営事務の効率化		農業委員会事務局
目 標	指 標	基 準 値	目 標 値
	遊休農地調査業務等の最適化活動の一人当たりの活動日数	—	6 日/月
R5実績	取組内容		
	農地利用状況調査にタブレット端末を導入したことにより、現場での農地情報確認等が可能になった。また、農業委員 19 名、農地利用最適化推進委員 14 名に対し、導入したタブレット端末は 15 台のため、委員全員が操作を習得できるよう前年度に引き続き操作研修を実施した。令和5年度の遊休農地調査業務等の最適化活動の一人当たりの活動日数は 2.75 日/月の実績となった。		

第3次小田原市行政改革実行計画

令和5年度実績報告

発行：令和6年（2024年）8月

編集：小田原市企画部企画政策課

住所 〒250-8555 小田原市荻窪 300 番地

電話 0465-33-1239

E-mail gyoukei@city.odawara.kanagawa.jp